

くりにからふどうけん 「俱利迦羅不動劍」

松伏町指定有形文化財（工芸品）
昭和50年6月1日指定

ほうしゅいん たなか
宝珠院（田中）は真言宗の寺院で、本尊はこんごうかいだいにちによらい
金剛界大日如来坐像（町指定有形文化財）です。この俱利迦羅不動劍は、ふどうみょうおう
不動明王が持つ劍の威力を強調するために独立させたもので、くりにからりゅう
龍が劍を呑む形をとっています。

かんぶん
寛文2年（1662）の作で、ちゅうどう
鋳銅製の劍に、べつちゅう
別鋳した龍を組み合わせています。龍は全体を8分割して各部をいっ
つ
鑄継いでいて、細部の造形の精緻さと共に高い技術を伺わせる作品です。

